

ツルパワーパネル 施工手引き

HPJタイプ用

1. はじめに

材料の確認

御注文いただきました資材及びその数量をご確認下さい。

工具の準備

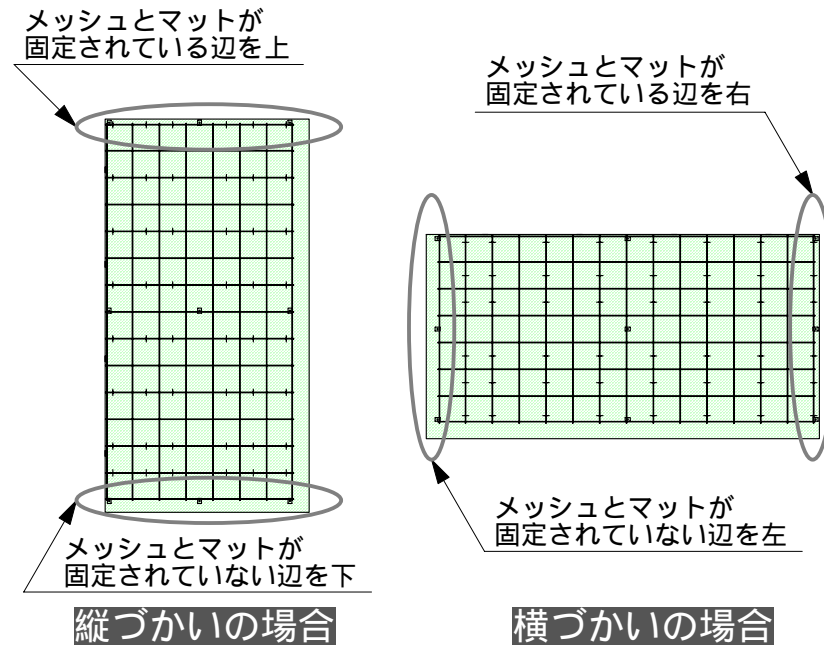
本製品は、壁材によって取付方法及び部材が異なります。詳しくは裏面をご参照下さい。

なお、コンクリート構造物を削孔する場合には、ハンマードリルのご使用をお薦めします。

保管上の注意

パネルを水に濡らすと登ハンマットがたわみ、施工精度が低下しますのでご注意下さい。

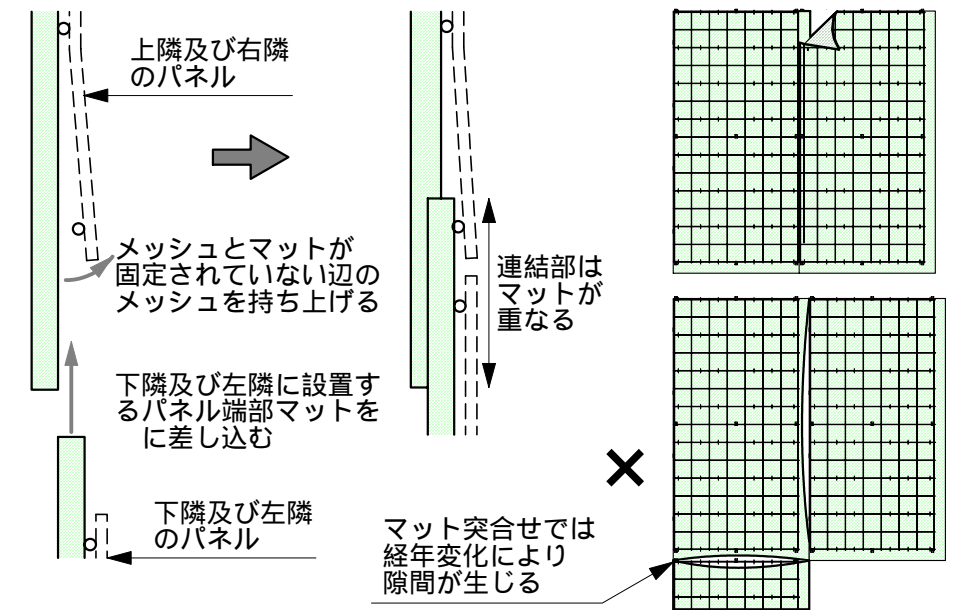
2. 向きの確認



メッシュとマットが固定されている辺を確認します。
縦づかいが基本ですが、横づかいでも設置可能です。

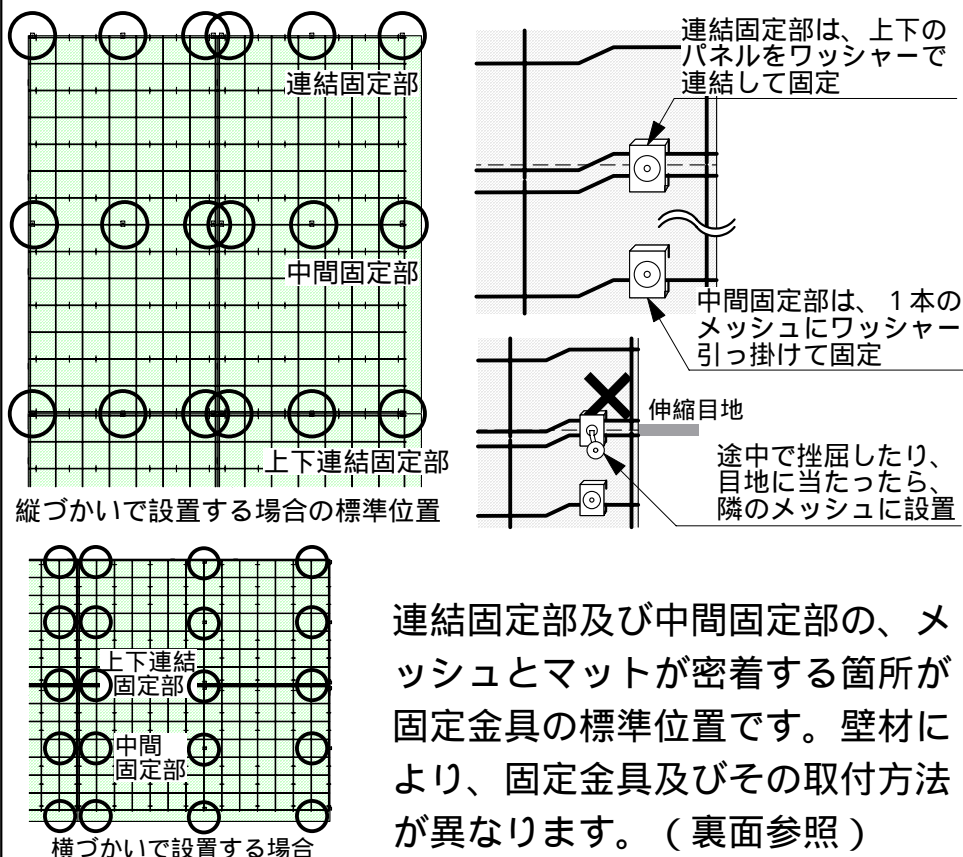
ただし積雪が多い地域では、「横づかい」を基本として下さい。

3. 張り合わせ方



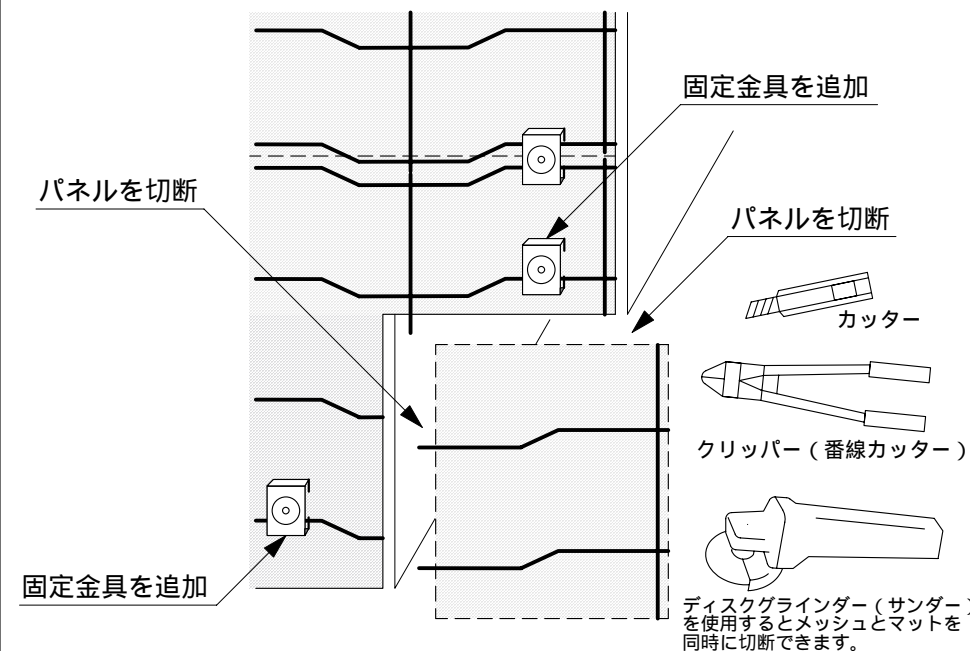
上隣及び右隣にあるパネルの端部メッシュを持ち上げ
マットを差し込んで重ね、メッシュを突き合わせます。
上下左右のメッシュを揃えるときれいに仕上がります。

4. 固定金具の取付



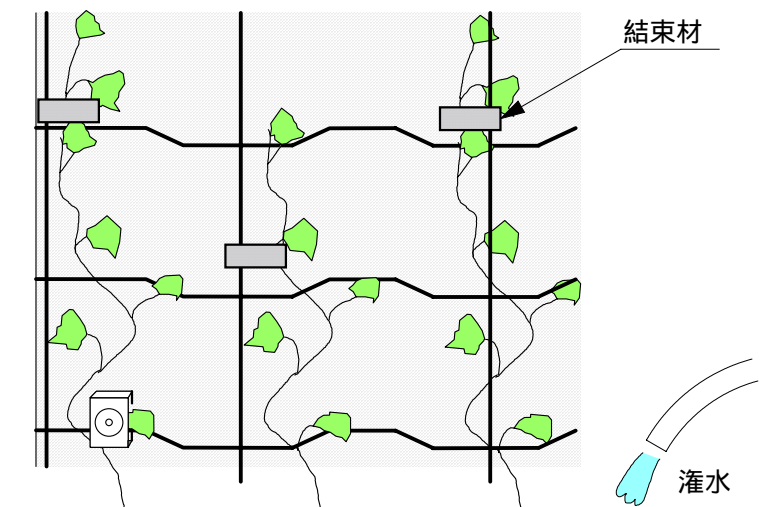
連結固定部及び中間固定部の、メッシュとマットが密着する箇所が固定金具の標準位置です。壁材により、固定金具及びその取付方法が異なります。(裏面参照)

5. 端部の処理



壁面の形状に合わせて現場で容易に切断できます。
必要に応じて固定金具を追加して下さい。
メッシュが1本線の箇所でも固定は可能です。

6. 植付・施肥・灌水・誘引結束



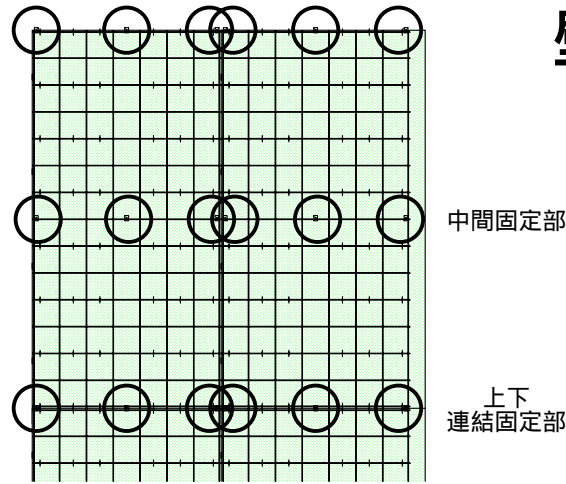
十分に灌水した後、メッシュとマットの間にツルを絡ませ、必要に応じて結束材で固定します。

結束材には生分解性テープやペーパー帯を使用し、ゆるく結束して下さい。ビニール帯やインシュロックできつく結束すると、将来ツルが太くなった際、くびれて折れてしまう可能性があります。

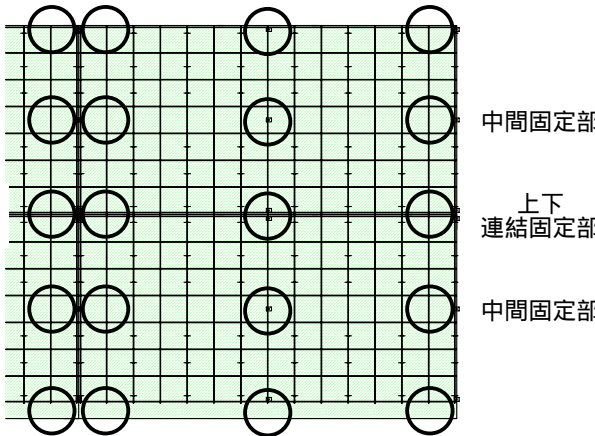
ツルパワーパネル 施工手引き（裏面）

壁材（金具）によるパネルの固定方法

固定金具の標準位置
（パネル縦づかいの場合）



固定金具の標準位置
（パネル横づかいの場合）

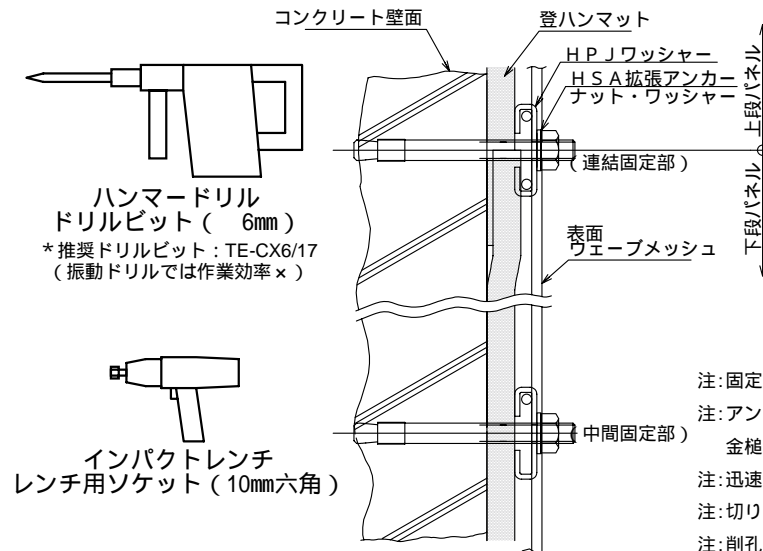
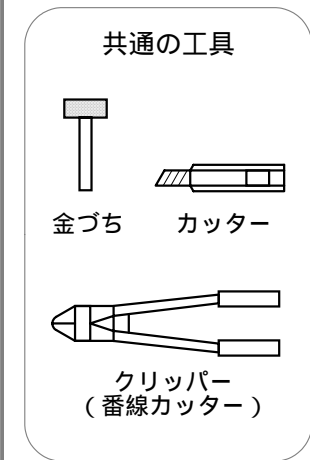


注：風荷重や固定金具の引き抜き強度を考慮して問題がない場合、左右のパネルを連結して固定することで、固定金具の数を少なくすることができます。

コンクリート壁

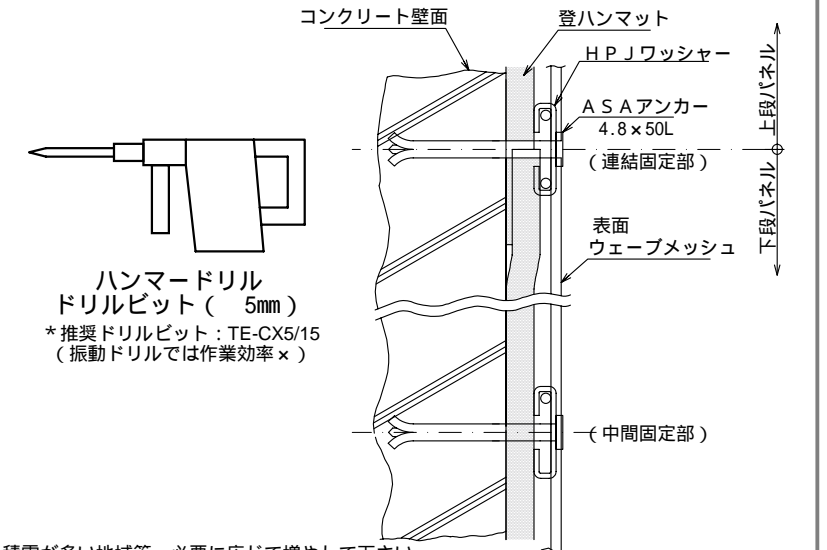
< HSAアンカーを使用する場合 >

1. ツルパワーパネルを壁に当て、アンカー固定位置を決めます。
2. ハンマードリルでパネルの上から、アンカー用の穴を削孔します。（6mm）
3. ワッシャーをはめ、アンカーの青いラインが見えなくなるまで金槌で叩いて打ち込みます。
4. レンチでアンカーに付いているナットを締め付けて固定します。



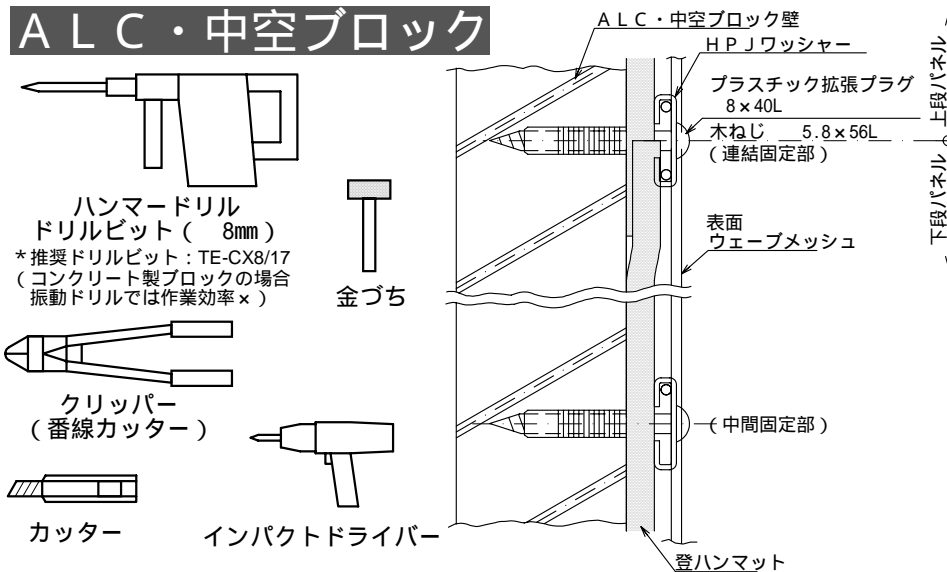
< ASAアンカーを使用する場合 >

1. ツルパワーパネルを壁に当て、アンカー固定位置を決めます。
2. ハンマードリルでパネルの上から、アンカー用の穴を削孔します。（5mm）
3. ワッシャーをはめ、拡張アンカーを金槌で叩いて打ち込みます。



注：固定金具は、積雪が多い地域等、必要に応じて増やして下さい。
 注：アンカーは、途中で挫屈した（折れた）場合は十分な強度が出ませんので、必ず奥まで差し込んでから金槌で打ち込んで下さい。
 注：迅速な作業のために振動ドリルよりも、ハンマードリルをお勧めします。
 注：切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに削孔するとアンカーの打ち込みに失敗しません。
 注：削孔部の防水処理が必要な場合は、コーキング材を注入のうえアンカーを打ち込んで下さい。

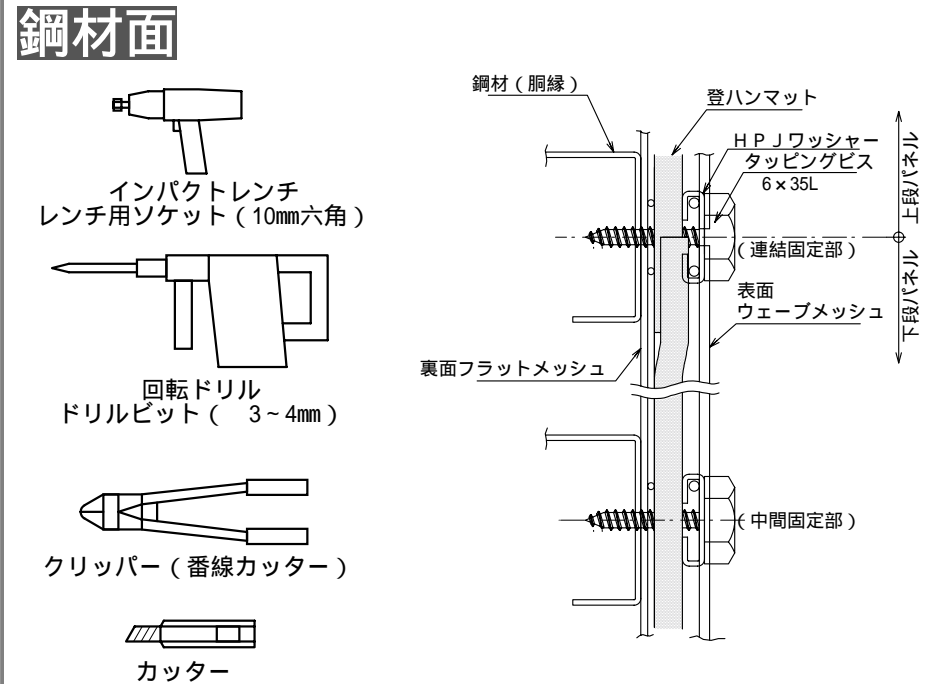
ALC・中空ブロック



1. ツルパワーパネルを壁に当て、固定位置を決めます。
2. ドリルでツルパワーパネルの上から削孔し、拡張プラグを差し込みます。
3. ワッシャーをはめ、拡張プラグの穴に木ねじを軽くねじ込みます。
4. 木ねじに登ハンマットの厚さ位置のマークを付け、その位置まで金槌で叩いて打ち込みます。
5. ドライバーでねじを締め付けます。

注：中空ブロックやALCには様々な種類がございますので、事前に厚さ等をご確認下さい。
 注：固定金具は、積雪が多い地域等、必要に応じて増やして下さい。
 注：プラスチック拡張プラグの先端を十分奥まで差し込んでから木ねじを金槌で打ち込んで下さい。
 注：コンクリート製ブロックの場合、振動ドリルよりも、ハンマードリルをお勧めします。
 注：切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに削孔するとアンカーの打ち込みに失敗しません。
 注：削孔部の防水処理が必要な場合は、コーキング材を注入のうえアンカーを打ち込んで下さい。

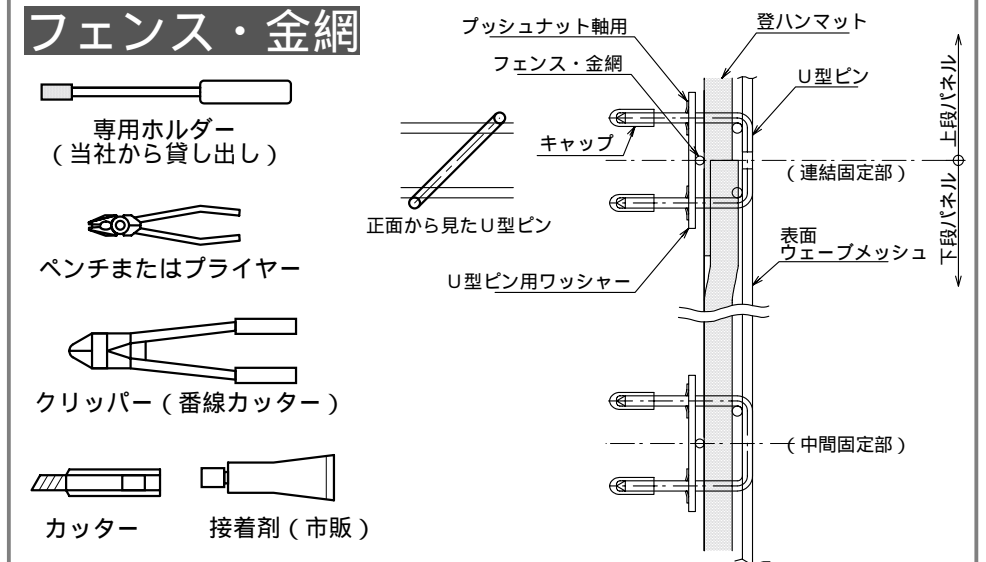
鋼材面



1. ツルパワーパネルを壁に当て、ビス固定位置を決めます。
2. ワッシャーをはめ、タッピングビスをインパクトレンチでねじ込み固定します。

注：固定金具は、積雪が多い地域等、必要に応じて増やして下さい。
 注：鋼板の厚さによっては、タッピングビスによる直接削孔ができない場合がございますので、事前に鋼板の厚さ等をご確認下さい。（通常 t=2.3mm程度までは直接削孔が可能です）
 注：ビスによる直接削孔ができない場合は、回転ドリルで少し小さめの穴（3~4mm程度）を削孔のうえ、ビスでねじ込み固定して下さい。

フェンス・金網



1. ツルパワーパネルをフェンスに当て、U型ピン固定位置を決めます。
2. パネル表側から、U型ピンをペンチなどで挟み、斜めに傾けて押し込みます。
3. フェンス側から、Uピンの中にフェンス・金網の線材があることを確認します。
4. フェンス側から、U型ピン用ワッシャーを奥まで差し込みます。
5. プッシュナットを専用ホルダーに装着し、フェンス側からU型ピンにはめ込みます。このとき、パネル表側からU型ピンが動かないよう、しっかり押さえて下さい。
6. フェンス側から、U型ピンの先端に市販の接着剤を塗り、キャップを取り付けます。

注：フェンスには様々な種類がございますので、事前に規格や強度をご確認下さい。
 注：固定金具は、積雪が多い地域等、必要に応じて増やして下さい。
 注：U型ピンは、ツルパワーパネルのメッシュとフェンスの線材と一緒に固定するものです。両側から必ず確認したうえで、取り付けて下さい。
 注：プッシュナットをはめ込む際の専用ホルダーは、当社から貸し出ししております。